広報
さめがわ

昭和６１年
４月号
No. 388
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所



全村完納29年の栄光をたたえる納税表彰式

鮫川村が、村民一丸となって築きあげてきた納税完納の伝統が、昭和60年度も継承され、29年継続完納を達成しました。

３月16日には恒例の納税表彰式が山村開発センターで開かれ、区長さん、組長さん全員が出席、来賓も多数で盛会でした。

表彰は、まず行政区と区長表彰が行われ、34年全区継続完納を達成した西山区など７行政区と区長さんが表彰されました。このあと納期前完納・納期内完納・年内完納組合と優良納税組合・組長さんらが表彰されました。

県内はもとより、全国に誇れるこの美風と伝統は、今後も長く受け継がれるよう期待されます。

４月１日～30日　河川美化月間
５月１日～31日　自転車安全利用推進月間
５月11日～17日　春の行政相談週間

今月の人口
（４月１日現在）

		前月比
人　口	5,499	（－51）
男	2,724	（－16）
女	2,775	（－35）
世帯数	1,124	（－９）

村職員人事

◇異動▽建設課工務係（経済課農政係）金沢満▽企画調整室（建設課工務係）根本一美▽さぎり荘（道路管理センター）鈴木市悠▽渡瀬保育所（鮫川保育所）関根サチ子▽鮫川保育所（渡瀬保育所）青砥ハツ子▽鮫川幼稚園（西山児童館次長）菊地朋子▽西山児童館（鮫川幼稚園）赤坂京子▽鮫川保育所（学校給食センター）矢吹美智枝▽学校給食センター（渡瀬保育所）金沢久

◇退職▽我妻タネ（鮫川保育所）

◇嘱託員▽吉田文子（総務課）▽石井智子（同）▽田子澄江（住民課）▽須藤カヨ（同）▽本郷栄治（建設課）▽鈴木重隆（企画調整室）▽下重三男（さぎり荘）▽関根洋子（西山児童館）▽生田目京子（幼稚園）▽山形カネ（診療所）

◇任命▽社会教育指導員＝北條平

教職員人事

【転入】◇校長▽青生野小（塙小）小林幸喜▽富田小（福島四小）菊地久男▽西野小（矢祭中）藤田敏貞▽西山小（保原中）阿部重信◇教諭▽渡瀬小（沢田小）宗田則子▽同（新採用）佐藤典子▽富田小（同）川村卓也▽西野小（鶴城小）佐藤敏信▽同（中畑小）和田紀子▽同（新採用）服部克也▽西山小（石井小）吉田信也▽同（新採用）菊地富美子▽鮫川小（新採用）後藤幸一▽鮫川中（泉崎中）後藤昌弘▽同（勿来一中）中野喜久枝▽同（新採用）高山尚之▽同（同）今村拓也◇養護教諭▽鮫川小（田島中）永山幸子◇事務職員▽鮫川小（新採用）馬目涼子▽鮫川中（同）根本一

【転出】◇校長▽泉崎中（青生野小）佐藤雄喜▽関辺中（富田小）鈴木衛▽米小（西野小）近藤昌好▽笹原小（西山小）古市敏▽貝泊中（県派遣社教主事）根本忠義◇教諭▽矢野目小（青生野小）桑島浩子▽塩沢小（渡瀬小）小林順子▽岩根小（富田小）橋本美津江▽柴宮小（西野小）影山裕子▽県南教育事務所（西山小）横山康洋▽藤川小（同）赤井八重▽矢祭中（鮫川中）下重正▽郡山四中（同）柳沼幸子▽大島中（同）瓶子仁▽矢祭中（同）馬場尚◇養護教諭▽東中（鮫川小）斉藤宇子◇事務職員▽差塩小（鮫川小）古川由紀子▽田人一小（鮫川中）河合ひろ美

【退職】▽箱崎亜利佐（渡瀬小）▽北條恵三（富田小）▽山本治三郎（西野小）▽緑川正昭（鮫川小）

お知らせのページ (36)

本村の三月定例村議会は三月一〇日に招集され、会期を六日間とし、昭和六一年度一般会計予算案を初め、重要案件一七件について慎重審議をつくされ、三月一五日全議案を可決決定して閉会されました。

このたび成立した昭和六一年度予算の編成に当って、基本方針としたのは

豊かな人づくり
心のふれあう福祉の推進
魅力ある環境整備
活力ある地域産業の振興
行財政の簡素合理化

など五項目で、これまで村づくりの大綱として堅持してきたところですが、ここでは社会経済情勢の変動に対処して特に留意し、努力した点について、ご理解を頂きたいと思うものであります。

昭和六一年度予算について

村長　石田卯子八

先づその一は、国の行政改革財政再建の諸施策が進むに従って、末端市町村の行財政に及ぼす影響が次第に現実化し、国庫負担や事業の縮減、補助率の引下げなど、市町村は嫌応なしに負担の増高を迫られることになったことであります。

これに対しては、事業の重点選別主義に徹して、事務事業の効率的な運営により受益者負担の増加を避ける方針をとりました。

次に先年樹立した鮫川村振興計画、過疎地域振興計画等は、新しい世代に向っての村の発展と、住民福祉の向上を図る選ばれた道程でありますから、財政の困難はあるとしても、できる限りこれを計上して、財源の確保に努めることにしたのであります。

また、昨年来民間有識者も加えて検討された村の行政改革大綱の当面実施すべき細目の中で、予算上にあらわれるものについても極力組み入れる方針をとりました。

しかし、更に慎重検討を重ねて実施すべきものもあり、予算に出ないソフトな措置、行動面の重要な事項も多いので、予算化率に係わらず、積極的な実行を推進することにしております。

以上の結果、一般会計予算は一九億六、二〇〇万円で、対前年比三%の増ですが、村税、使用料手数料その他受益者負担等はそれぞれ当然増はあっても税率、料率、負担率の増はありません。

国民健康保険特別会計事業勘定は三億六、一九万円余で対前年比一三・三%の増。これは医療費の増高に伴ない保険給付費一八・三%増、老人保健拠出金四・七%増を賄うため、支払準備基金など一千万円余の繰入れを行って、保険税の伸びを二〇・五%に止めることにした次第であります。

他の特別会計については省略させて頂きますが、この年度もまた皆様のよきご理解のもと、予算執行にご協力をお願いするものであります。

青少年広場工事急ピッチ

夜間照明機も設置



▲急ピッチで進められる青少年広場工事

宿ノ入地内に造成中の青少年広場は、スポーツシーズンを前に急ピッチで工事が進められています。

広場の総面積は二万二、一〇〇平方㍍で、グランド、テニスコート、駐車場等が設置されます。グランドの面積は一万六、一七八平方㍍あり、野球なら両翼九〇㍍がとれる広さで、夜間照明機も設置されます。

現在、グランド・法面の整地等が行われており、このあと五月二〇日の完成を目指しダックアウト、バックネット、便所等の工事が行われます。

青少年広場は「スポーツの村、健康と長寿の村づくり」を目指し、昭和五九年度から継続事業で進めているものです。この施設の完成によって、村のスポーツ施設は一段と充実します。

正確な情報を素早く伝達

東白初の同報無線が開局

東白川地方では初めての農村情報連絡施設（同報無線）が完成し、四月一日から開局しました。



▶開局のあいさつをする石田村長

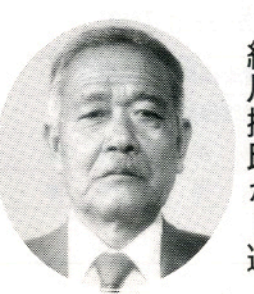
この施設は、行政事務の連絡、いつ起こるかもしれない災害に備えて、正しい情報をいち早く伝えるためのものです。

四月一日午前六時の時報後には、開局にあたっての村長のあいさつが放送されました。

◇　◇

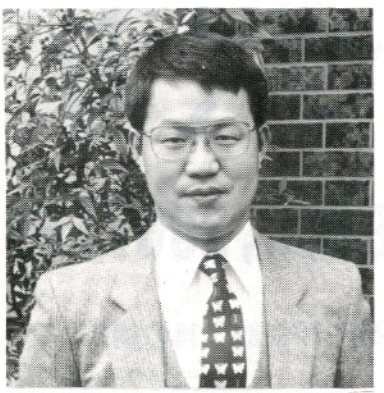
屋外子局からの放送は、天候、風向き、スピーカーの方向などで聞こえる範囲が変わることがあります。聞きとりにくい地域については、実施結果をみながらスピーカー等の調整をしていくことにしています。

監査委員に緑川操氏が3選



村の監査委員に、緑川操さん（大字赤坂西野字仁田）が三選されました。

緑川さんは、学識経験を有する委員として、三月定例村議会において同意を得て選任されたものです。



村出身の医学博士

大楽勝了さん

鮫川村出身の大楽勝了さん（赤坂中野字大塩、大楽勝男さんの三男）＝**写真**＝が、本村出身では初めての〝医学博士〟の学位を取得しました。

勝了さんは、東北大学医学部を卒業後、二年間磐城共立病院に勤務。このあと東北大学大学院に進み、内科学系の学位を取得したものです。

現在、いわき市の福島労災病院に勤務しており、今後の活躍が期待されます。

活力あるむらづくり

61年度一般会計予算は19億6,200万円

村の昭和六一年度当初予算が、三月一〇日から一五日まで開かれた「三月定例議会」で決まりました。

一般会計は一九億六、二〇〇万円、国民健康保険会計・事業勘定が三億六、一一九万四千円、直診勘定が五、〇六〇万、老人保健会計が一億七、八八三万九千円、簡易水道会計が八七四万三千円で、予算の総計は二五億六、一三七万六千円となりました。

次に一般会計歳入歳出予算の内容についてお知らせします。

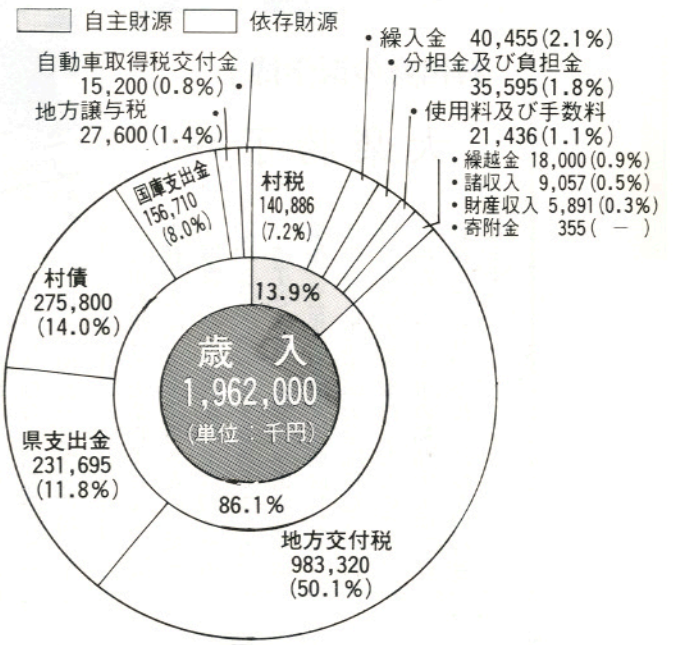
歳入予算の状況

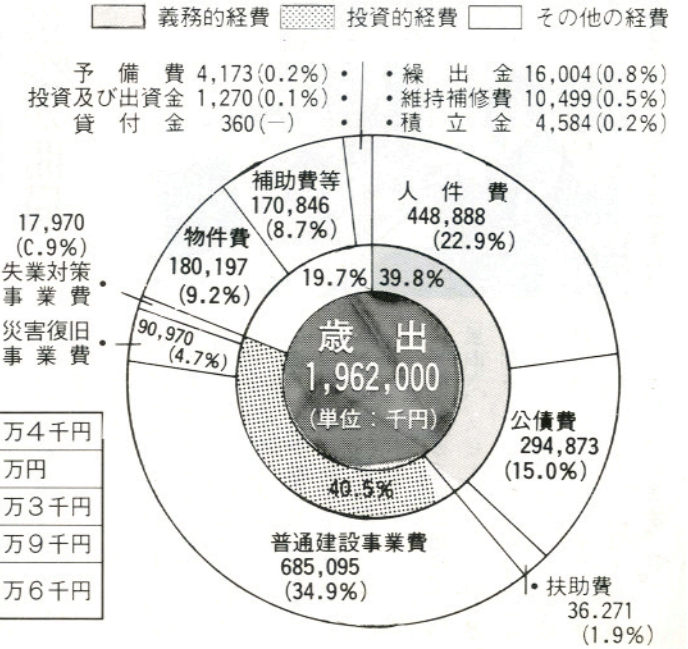
六一年度の一般会計歳入予算の構成はグラフのとおりで、対前年比三・一%の伸びとなりました。村税等の自主財源は二億七、一六七万五千円で、予算総額に占める割合は一三・九%となりました。これを前年度と比較すると五・六%の増となりました。これは、村税が六・八%伸びたことと、事業の関係で財政調整基金からの繰入金が多くなったことによるものです。

地方交付税、国県支出金等の依存財源は一六億九、〇三二万五千円で、総額に占める割合は八六・一%となりました。

内訳は、事業の関係で県支出金が二二・六%減少したものの、地方交付税が八・二%伸び、国庫支出金一四・五%増、村債が六・二%増となっています。地方譲与税、自動車取得税交付金は前年度同額となり、合計で前年度より二・六%の増となりました。

■一般会計予算の構成





■特別会計予算

国民健康保険(事業勘定)	3億6、119万4千円
国民健康保険(直診勘定)	5、060万円
簡易水道事業	874万3千円
老人保健事業	1億7、883万9千円
計	5億9、937万6千円

明るく豊かな

■昭和61年度・歳出予算と主な事業

（単位：千円）

議会費〔42,653〕
〔議会活動費1,687〕

総務費〔199,950〕
〔庁舎等維持管理10,192〕〔広報紙発行2,298〕〔行政区対策8,953〕〔財産管理7,985〕〔財産台帳整備2,290〕〔基金管理5,043〕〔防犯対策1,233〕〔納税奨励活動2,911〕〔参議員選挙1,816〕〔県議会議員選挙592〕

民生費〔170,379〕
〔お母さんお嫁さんに感謝する会580〕〔重度心身障害者医療扶助6,404〕〔在宅老人福祉845〕〔敬老会1,694〕〔敬老年金支給1,261〕〔さぎり荘運営7,051〕〔児童手当給付24,366〕〔母子福祉911〕〔鮫川保育所運営43,185〕〔渡瀬保育所運営32,285〕〔児童館運営12,197〕〔国民年金保険料完納奨励金962〕

衛生費〔50,209〕
〔母子保健712〕〔乳児医療1,499〕〔予防接種1,330〕〔結核予防1,228〕〔住民健康診査6,835〕〔ごみ・し尿処理（衛生処理組合負担金）25,129〕

労働費〔34,156〕
〔失業対策事業17,970〕

農林水産業費〔477,416〕
〔農業委員会活動1,256〕〔農業改良推進事業3,074〕〔稲作生産安定合理化対策事業2,619〕〔水田利用再編対策1,387〕〔転作基盤合理化促進事業（土地改良・サイロ設置）2,060〕〔農村地域農政総合推進事業3,573〕第三期山村振興対策事業（テニスコート・夜間照明、農道整備＝菅田地区）39,713〕〔農業技術指導センター管理1,720〕〔山村開発センター運営13,161〕〔農業者トレーニングセンター運営10,615〕〔村有牛貸付1,400〕〔家畜導入4,847〕〔農道整備（上大塩、真坂、桜久保、葉貫、大石草地区）53,540〕〔地籍調査（滑石、岨長地区）30,528〕〔間伐促進総合対策事業3,586〕〔松くい虫防除731〕〔林業振興事業（林道整備＝戸倉線、前沼線）（治山＝中沢）（幹線作業道＝中野町）49,831〕〔林業総合整備事業（林道整備＝東前田線、下線、大久保後田中線）120,865〕

商工費〔8,942〕
〔商工業振興費2,368〕

土木費〔309,446〕
〔道路台帳整備19,000〕〔国県道県営事業負担金20,000〕〔村道整備（田尻関口線、新宿古殿線、官沢余所内線、羽双線、岨長塩倉線、赤柴線、大録田大久保線、新宿古殿線、藏ノ草大竹線、酒垂宝木線、江竜田滝線、遠ケ竜戸草線、沼野沢山白石線、名下滝線）217,400〕〔公営住宅建設（村営住宅1棟）19,386〕

消防費〔72,936〕
〔消防施設整備（防火水槽1基、小型動力ポンプ2台、ポンプ置場新築＝石井草、ホース乾燥塔修繕＝沼野沢）5,400〕

教育費〔205,897〕
〔教育委員会活動1,138〕〔小中学校管理36,948〕〔スクールバス購入6,500〕〔小中学校就学援助1,234〕〔小中学校教材整備2,950〕〔幼稚園運営25,421〕〔社会教育委員等活動1,219〕〔成人式493〕〔公民館各種教室1,268〕〔歴史民俗資料館運営2,547〕〔青少年の家管理496〕〔保健体育活動3,080〕〔青少年広場造成9,547〕〔学校給食センター運営40,842〕

災害復旧費〔90,970〕
〔公共土木施設災害復旧事業（河川＝彦次郎、山口、青生野地内、道路＝大石草、巡ケ作、反田、中沢地内）76,795〕〔農業用施設災害復旧事業（十日塚）14,175〕

公債費〔294,873〕
〔元金償還166,088〕〔利子償還128,785〕

予備費〔4,173〕

■当初予算の推移



歳出予算の状況

歳出予算の構成はグラフのとおりで、国の行財政改革の諸施策が進むにつれ、市町村の負担が増加していることから、事務事業の一層の簡易効率化を図り、重点選別主義に徹した編成方針がとられました。

内訳は義務的経費が七億八、〇〇三万二千円で構成比三九・八パーセント、投資的経費は七億九、四〇三万五千円で四〇・五パーセント、その他の経費は三億八、七九三万三千円で一九・七パーセントになりました。

主な建設事業の計画は、第三期山村振興事業でテニスコートの造成、畜産基地づくりの家畜導入事業、村営住宅の建設。そのほか地籍調査事業、村道・農道・林道の整備、青少年広場整備事業等が予定されています。

行政区別
交通事故防止コンクール
赤坂中野区が１位



昭和六〇年度の行政区別交通事故防止コンクールが七月一日から一二月三一日までの六か月間行われ、赤坂中野区が一位となりました。

このコンクールは、鮫川村、鮫川村交通対策協議会が主催で、棚倉、石川両警察署管内で発生した事故・違反等の少ない行政区三位までを表彰しているものです。

六〇年度のコンクール成績は別表一のとおりで、評価点数の少ない赤坂中野区が一位、渡瀬区が二位、青生野区が三位の順でした。

事故・違反別件数は別表二のとおりで、昨年と比較すると無免許運転が大幅に増加しています。また、酒酔い運転、酒気帯び運転は依然として後を断ちません。

ルール違反をしても安全であればいい……という考えは間違いで、ルールを無視して事故に至るケースが多いという事実を考えると、ルール遵守は防衛運転の重要な条件といえます。

なお、このコンクールの表彰は、三月一六日の納税表彰式の席上行われました。

表１　コンクール成績表

行政区	人口	事故・違反点数	評価点数	順位
赤坂西野	896	380	424	5
西山	902	315	349	4
赤坂中野	916	155	169	1
赤坂東野・石井草	1,049	500	476	6
富田	470	425	904	7
渡瀬	694	215	309	2
青生野	466	155	332	3

表２　事故・違反別件数

区分／行政区	人身事故	物損事故	酒酔い運転	無免許運転	酒気帯び運転	速度超過	一時不停止	初心運転者遵守事項	信号無視	通行区分	免許証不携帯	駐車違反	整備不良	その他	計
赤坂西野	2	1		1		10	2	1	1			1		1	20
西山	1	2		1		10	2				2				18
赤坂中野		3				3	2	1				1			10
赤坂東野・石井草		2	1	2		9	1	1	1	2	1		1		21
富田	1	1		1	1	5	2								11
渡瀬				1		9	1	1		2					14
青生野				1		2		2	2					1	8
計	4	9	1	7	1	48	10	6	4	4	3	2	1	2	102

鮫川村が９位入賞
県事故防止コンクール

福島県、福島県交通対策協議会、福島県警察主催の「市町村別交通事故防止コンクール」の最終結果が発表され、鮫川村が九位となりました。

このコンクールは各市町村を三グループに分け、一月一日から一二月三一日までの一年間、交通事故の少なかった市町村を表彰しているものです。

鮫川村は、Cグループ（人口一万人未満の町村）に分類され、五〇町村のうち第九位に入賞したものです。

ふるさと産業おこし運動

シンボルマークを活用ください

福島県では、「ふくしま・ふるさと産業おこし運動」の一層の推進をはかるために、このほどシンボルマークをつくりました。

このシンボルマークは、福島県のイメージを高めるためにつくられたものなので、県内で生産される農林水産物などの特産品や、祭りなどの行事宣伝にも使用できます。

なお、このマークを使用する場合には届出が必要になりますので、くわしいことは役場企画調整室におたずねください。

◀ふるさと産品に使用する場合

ふくしま
ふるさとふれあい福島産品

地域防災の守りは固し

― 官代地内で火災防御訓練 ―

春の火災多発期にあたり、消防団と棚倉消防署鮫川分署との合同火災防御訓練が官代地内で実施されました。

三月一三日の早朝、シイタケハウス附近から出火、折りからの強風により山林へ飛火したとの想定で行われました。訓練内容は、確実な一一九番通報、安全迅速な出動、水利部署の確保、ポンプ三台による中継、ジェットシューター隊による山林火災消火。また、地域の皆さんのバケツリレーによる初期消火など、終始機敏に行われました。



▲防火水そうから取水するポンプ自動車



▲山林火災の消火訓練

消防団長の松崎さんに 消防庁長官から 永年勤続功労章



▶功労章を受けた松崎団長

多年にわたり消防業務に尽力されてきた本村消防団長の松崎清次さんに、このほど消防庁長官から永年勤続功労章が贈られました。

松崎さんは現在、県消防協会東白川支部長の要職にもあり、その功績が高く評価されたもので、今後ますますの活躍が期待されます。

災害時には 一斉にサイレン吹鳴

四月に本放送を開始しました同報無線から、火災等災害発生の場合は、緊急放送を行います。

一般定時放送等の場合にはチャイムを鳴らし放送を行っておりますが、緊急放送時には、全村一斉にサイレンを吹鳴した後に、放送によりその内容をお知らせします。消防団員の出動については、その招集基準を定めてあり、基準に従い消防団員が出動することになっています。

山火事防止に協力を

全国各地で大規模な山林火災が相次いでいます。特に春先は空気が乾燥し、燃えやすい気象条件になりますので、タバコの投げ捨て、野火焼き等は行わないよう注意してください。



行政への要望や苦情を解決

五月一一日（日）から五月一七日（土）までの一週間は「春の行政相談週間」です。行政に対する（国・県・村）苦情や要望、意見を受付け、皆さんと役所等との間に立って、その解決を促進するよう相談に応じます。

秘密は守られますので、ぜひお気軽にご利用ください。

相談場所
大字赤坂西野字仁田
行政相談員　緑川　操　宅

◇　◇

なお、五月二〇日（火）は定例の行政相談日です。

午前一〇時～午後二時まで山村開発センターで行います。



行政相談週間
5月11日～17日

献血ありがとう

三月二十日村内巡回採血で八八名の方々から献血にご協力をいただきました。お陰様で六〇年度目標を達成することができました。誠にありがとうございました。

献血に協力された方は、次のとおりです。（敬称略）

▽斉藤克子▽須藤アヤ子▽藤田ヨシエ▽石井優子▽須藤教子▽矢吹美恵子▽石井フミ▽阿久津春江▽大竹トミ▽本郷ヨシエ▽須藤ヨシ子▽関根昭二▽本郷キミエ▽湯座達雄▽湯座セキ子▽湯坐良政▽生田目邦一▽宗田うら子▽西戸明美▽藤田剛▽鈴木初枝▽我妻久子▽星秀子▽坂本清美▽渡辺三代子▽板橋源良▽舟木国児▽藤田憲一▽吉成昌文▽金沢幸子▽大池義閔▽白坂邦次▽樋口和典▽窪木敦子▽根本良子▽我妻久美子▽藤田充▽瓶子仁▽近藤仁一▽吉成令子▽高坂郁子▽河合ひろ美▽大楽勝弘▽中川西功子▽大楽憲子▽柳沼幸子▽藤田芳明▽関根英男▽根本文彦▽芳賀里美▽村上昭彦▽生田目吉康▽鈴木新市▽青戸義之▽鈴木和則▽須藤健▽宗田輝子▽吉田文子▽芳賀正訓▽高坂仁一▽松本泰代▽藤田洋美▽斉須寛一▽生田目丈夫▽根本洋子▽小山田一成▽本郷まさ子▽江藤義英▽菅野寿彦▽赤坂かつ子▽矢吹仁▽斉藤絹子▽蛭田和浩▽生田目一▽矢吹隆夫▽大森茂▽大森敏雄▽藤田則雄▽湯坐純隆▽小松幸子▽青砥ハツ子▽高坂典子▽鈴木令子▽工藤敏広▽青戸良一▽津田彰夫▽芳賀喜久江▽小泉正倫

文芸



俳句

上　高坂　蚯切
回診をさける屋上日脚伸ぶ
鮫川高校　沢　草二
石仏が心の旅路枯木山
反　田　小山田清哲
くだきたる凍土の固さ掌に残る
新　宿　斉須　信子
七草の豊かさ香る家族の輪
横　座　矢　吹　茂
飛び上がる宙をためらう雀の子
道少田　山本　朗史
こまごまと光りの遊ぶ雪解谷
大　塩　矢吹　呂孝
炭がまの匂う谷間の岩に立つ
道少田　山本五十鈴
クレーンが積み上げている春の雲
大　平　関根　絹子
娘の入試春雪重く降り積る
宿ノ入　田中　義明
春雪やまだ覚めやらぬ北の街

短歌

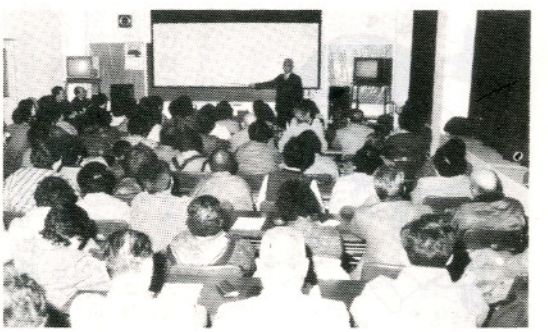
新　宿　杉山　忠男
絶えず書く日記に対しうつつ身の悠々自適は何ぞと思索す
滝　平　円井　モト
孫卒園まであと幾日の出迎えと指折り数えバス停に行く
名　下　須藤美代子
ほんのりと匂う紬を仕立てつつ杳き蚕飼いの頃を憶いり
関　口　藤田　マサ
化石館地下に入り佇ち胸つかる坑内働く炭坑夫の人形に
折　戸　阿久津ミツ
葉煙草を調理すわきにラジオ置きニュース楽しみ作業つづける
彦次郎　青戸　テル
記録競技孫六百米に参加して記録破りてやったと叫ぶ
広　畑　岡部ヒサ子
二分咲きの思いのままの梅が枝に若きカップル手を重ねおり
越　虫　星　武
山峡も彼岸となりて凍てゆるみ背戸の林に小鳥鳴き交う
巡ケ作　鈴木　米子
異動時期はまためぐりきて雪残る村より馴染みし人ら去りゆく

健康は自分で守ろう

成人病予防の講演会

三大成人病のうち、「がん」と「脳卒中」の予防についての講演会が山村開発センターで開かれました。

「がん」予防については三月一七日郡山市の坪井病院長・坪井栄孝先生、「脳卒中」予防については三月二八日白河厚生病院長・遠藤良一先生を講師に迎えて開かれたもので、お年寄りや婦人を中心に約二〇〇名が聴講しました。



▶関心の高かったガン予防講演会

母子手帳の交付日

母子健康手帳交付日は表のとおりです。なお、この日以外に交付を受けたい方は、住民課保健係に事前に連絡してください。

母子健康手帳交付日程表
（5月～9月分）

	交付場所	
	午前	午後
5月19日	役場	役場
6月18日	〃	〃
6月28日	〃	〃
7月8日	母子健康センター	〃
7月23日	役場	〃
8月13日	〃	〃
8月27日	〃	〃
9月3日	母子健康センター	〃
9月20日	役場	〃

農委だより

地域農業集団育成事業
生産性の高い農業を

地域農業集団育成事業は、農地の有効利用と生産性の高い農業構造の改善を図ることを目標としている事業です。

では、地域農業集団の性格、地域農業集団を育成するための施策などについて簡易に述べてみたいと思います。

一、地域農業集団育成の背景と必要性

地域農業集団を育成することになった背景としては、一つには、米、麦、大家畜等の土地利用型の農業の規模拡大、農用地利用の面的集積、土地利用度の向上等を中心として生産性の高い農業の実現を目指すことが農政の急務となっている。

もう一つには、農業従事者の高齢化や兼業化が進むにつれて農用地をはじめ水、機械、労働力等が有効に活用されない実態があります。

このような問題を解決するためには、中核的担い手農家を中心に、老令農家や兼業農家等を含めた集落ぐるみの話し合いを通じて解決していくことが必要です。

そこで農用地や機械、労働力などの利用調整についての話し合いの場を設け、この話し合いの結果を実行して行く主体として地域農業集団を設置するものです。

二、地域農業集団の性格

(1)構成員

集団の構成員としては、第二種兼業農家等を含む区域内の農用地について権利を有する者が全員参加するとともに、中核的担い手農家や高能率な生産組織を育成することが必要となるので、当該地域農業集団の区域外の中核的担い手農家等についても構成員とすべきです。

(2)区域

農用地の利用調整を行うためには、合意形成を図る必要があるので、地域的にまとまりのある一ないし数集落を範囲とする。

指定地区

	集落名
1	塚本
2	岩野草
3	宝木
4	大塩
5	遠ケ竜
6	葉貫
7	大石草
8	中沢
9	二反田
10	大戸中二
11	大犬平
12	世々麦

(3)集団に期待する機能

第一は、中核農家に農用地を面的に集積したり、作付けの団地化を行うための機能、すなわち、農用地の集団的利用調整を行うための機能が重要となります。

第二は、労働力の有効利用です。たとえば、作業の共同化を進めるとか、機械、施設の効率的な利用、堆肥など副産物の有効利用といったことが考えられます。また、このようなことを行う前提として、将来、その地域にどのような農業経営がふさわしいのかといった農業経営類型の策定も必要となります。

なお、鮫川村においては右記の一二集落が指定されていますので、この集落の実情については、随時紹介していきます。

全国農業新聞〝全農歌壇〟
須藤美代子さんに年度賞

全国農業新聞では毎年「全農歌壇」への投稿者の中で一年を通じて最も優秀な人を、年度賞として表彰しています。六〇年度は、短歌の部に本村の須藤美代子さん（赤坂西野字名下）が選ばれました。

須藤さんは、二年ほど前から出詠を始め、毎月投稿し数多く入選作を出しています。熱心な活動とその歌は、感じたことをすぐ作品化する習慣が身につき、そのみずみずしい感覚、きちょうめんで真面目な詠み方が評価されました。



年度賞を受賞した
須藤さんの感想

老後の生きがいを求めて短歌を作りはじめて三年。私のつたない歌が「全農歌壇」年度賞の受賞の栄にあずかりましたことは、驚きとともに終生忘れ得ぬ喜びでございます。本当にありがとうございました。

若い時から短歌が大好きでしたが、慣れない農作業に圧倒され、心のゆとりも持てず、作歌することもなく過ぎてしまいました。今にして思えば人生の一番充実した年代、農作業にも、苦しければ苦しい歌が作れたはず。それのみが残念に思えてなりません。

この度の受賞を機に、これからもわが心を養わんため、作歌に励み、悔のない老後を過したいと念じております。

（昭和六一年四月四日　全国農業新聞より）

全国農業新聞を購読しましょう

全国農業新聞は、農業者の利益代表機関である農業委員会が農業者の立場に立って編集発行している農業専門紙です。

★発行日　毎週金曜日
★購読料　一カ月　四五〇円
※お申し込みは農業委員会まで

公民館だより

あなたの生活と心をより豊かにする

公民館主催事業案内

激しい社会変化の中でより豊かな生活を送るには、生涯にわたる適切な学習活動が大切です。公民館では、楽しみながら学べる各種教室・講座などを次により開催する予定です。後日、参加者を募集致しますので、あなたもぜひご参加ください。

ふるさと子ども教室

▽学習内容　ジュニアリーダーの知識と技術、レク活動、集団訓練と宿泊研修、ボランティア活動、伝承文化の演習と技術
▽対象者　村内小学五・六年生
▽開催時期　五月～三月

子供文化財教室

▽学習内容　鮫川村の埋蔵文化財（遺跡出土器）、主な文化財・史跡・景勝地の見学
▽対象者　村内小学四～六年生
▽開催時期　七月

在学青年社会参加活動

▽学習内容　ボランテイア活動



▶楽しい学習風景

レク活動、集団訓練と宿泊研修
▽対象者　村内出身の高校生
▽開催時期　八月

二〇歳の講座

▽学習内容　大人への仲間入りのための知識と教養、成人式の記念行事等の企画・準備運営
▽対象者　昭和六十一年度に成人式を迎える者
▽開催時期　一〇月～一月

婦人講座

▽学習内容　現代の婦人問題、家庭生活の諸問題、今問われる家庭教育、健康と体力づくり、ファミリースポーツとレクリエーション等
▽対象者　村在住の成人女性
▽開催時期　七月～二月

社会学級

▽学習内容　健康・安全に関する学習、家庭生活・世代間の理解に関する学習、スポーツ実技（軽スポーツ）、文化芸能活動
▽対象者　村在住の高齢者
▽開催時期　五月～一二月
▽開設教室　西野・西山・中央・富田・渡瀬・青生野教室

成人講座

▽学習内容　パソコン、ゲートボール、その他
▽対象者　村内一般成人
▽開催時期　七月～一二月

書き初め展

▽内容　毛筆作品募集展示
▽対象者　村内一般成人
▽開催時期　一月

福島県総合美術展覧会
一般作品を募集

第四〇回記念の福島県総合美術展覧会が次により開催されます。作品は、日本画、洋画、彫塑、工芸美術、書の五部門で、一般からの作品も公募しています。

一、会期　昭和六一年六月一四日～六月二五日
二、会場　福島文化センター
三、作品および出品規定
(一)出品者　県内在住者および県出身者とする。ただし中学校以下の児童、生徒は出品できない。
(二)出品作品　自己の制作したもので、原則として未発表のものとする。
(三)出品点数　各部一人一点
詳しくは社会教育課（山村開発センター内＝電話四九―二二四七）までご連絡ください。

『若人の翼』参加者募集



「若人の翼」は、日頃青少年団体、グループ、又は地域等で活躍している青年を海外に派遣し、国際人としての教養を身につけ、青少年のリーダーとして郷土づくりに活躍してもらうことを目的として実施される事業です。

昨年は、本村から生田目吉康さん（西山字辺栗）が参加し、大きな成果をあげてきました。

今年も、この「若人の翼」の参加者を募集しますので、参加希望の方または応募条件等について詳しく知りたい方は、村社会教育課（電話四九―二二四七）までご連絡ください。

福島県青年海外派遣事業
＝若人の翼報告＝

(2) 人を人と思わなかったヒトラー

西山字辺栗　生田目　吉　康



▲ポツダム宣言が行われたチェチュリーフィフ宮殿
（右から２人目が生田目さん）

私達一行は、バスで国境を越えました。国境の検問所では写真撮影、バスの下車禁止の注意を受け、入国検査が約四〇分間行われました。何事もなく、東ドイツで通訳をしてくれるコニーさん（二十二歳、東海大に一年留学して日本語を学ぶ。）の説明を聞きながら石炭の臭いのする、そしてポツダム宣言の行われた人口三〇万人のポツダム市へ向いました。

最初の見学先は、ポツダム宣言当時のままに残る「チェチュリーフィフ宮殿」でした。宮殿の中のドイツを分割する為の会議室（ポツダム宣言室）には、机と椅子があり、机の真中の国旗もそのままに並んでいました。アメリカ代表の執務室には、ドイツ分割の三つの案（トルーマン、モルゲンハー、ルーズベルト各プラン）が書かれた地図が残っていました。昼食は（私達の口には合わなかった鳥料理を）国営のレストランで食べた後、あのヒトラーによって造られたユダヤ人と収容者の悲しみと怒りが残るザクセン強制収容所を見学しました。

当時、ここでは、一つのベッドに三、四人を寝かせ、労働時間は一日十四時間、食事は一人分一日三〇〇グラムのパンと水のスープで人体実験も行われていたそうです。収容所の周りの壁には、当時一千ボルトの電気が流れていた線がありました。



▲東ドイツの郊外レストランの前で



▲当時そのままに残るザクセン強制収容所

バラックも当時そのままで、ワラのベッド、便所、浴室、食堂とユダヤ人博物館が残っています。さらに監視塔にある時計は一九四五年四月二十二日、ソ連により開放された時刻「十一時七分」を今も指していました。

その夜は、ホテルで夕食を摂った後、東ドイツ青年十名と街角のスナックでビールを飲みながら約二時間の交流会を行いました。

彼らは皆国鉄員で、英会話のサークルの仲間だそうです。お互い片言の英語で年令、趣味などの一般的な話をしました。社会政治については、何故か聞けませんでしたが、その他の中でちょっとビックリしたことがありました。それは、車の値段がとても高いということです。この国での車の値段は、「家が買えておつりがくる」くらいだそうで、私達は車がそんなに高いとは思ってもみませんでした。ちなみに彼らの月給は七～八万円で、二十年前の車がやっと買えるくらいだそうです。

交流会も無事終わり、翌日、今回私が一番行きたかった国「ハンガリー」へ向かいました。

白河公共職業安定所からのお知らせ

国の行政改革の一環として、全国的視野から公共職業安定所等の再編整理が行われ、三月三一日をもって棚倉分室が整理されました。

四月からは、当地域における行政サービスに努めるため「棚倉職業相談室」を開設しています。ここでは、毎週二日間今までと同じ範囲の業務を取扱っていますので、ご利用ください。

▽相談室の開設
毎週火曜日及び金曜日（この日が休・祝日の場合はその前日）

▽相談室の開設場所
棚倉町大字棚倉字城跡乙（今までの棚倉分室と同じ＝電話二三二－二七七〇）

▽業務取扱時間
午前九時三〇分から午後四時
なお、急用については白河公共職業安定所（白河市宰領町＝電話〇二四八－二四－一一五六）にご連絡ください。

納税だより

軽自動車税の車検用納税証明書を大切に

六一年度の軽自動車税納税通知書には、車検に必要な「軽自動車税納税証明書（継続検査用）」が付いていますので、納付後は、車検の時まで大切に保管してください。

確定申告が間違っていたとき

確定申告をした後で、申告内容に間違いがあることに気付いたり、うっかり申告書の提出を忘れている人はいませんか。

税額を少なく申告したときは「修正申告」を、多く申告したときは「更正の請求」をして正しい金額に訂正しましょう。

また、申告を忘れていたときは、すぐに期限後申告をしてください。

心あたたまる寄附

○富田字中沢　坂本　義利様
亡父（平五郎）の遺志により
二万円

○渡瀬字大戸中　小松　幸一様
亡父（操）の遺志により
三万円

○富田字中沢　鷲野谷重一様
亡母（カ子）の遺志により
二万円

○渡瀬字越虫　藤田　美好様
村道路河川愛護会事業資金として五万円

おめでた

三月

菅野目　大竹　弥生　父大竹　徹
大塩　岡部　貴浩　父岡部武夫
戸草　芳賀　幸子　父芳賀　聡
反田　国島奈々絵　父国島賢一
中澤　矢吹　香利　父矢吹利光

おくやみ

三月　年齢　世帯主

酒垂　石井光雄75歳　石井隆夫
前田　金澤キク84歳　金澤利雄
中澤　鷲野谷カ子73歳　鷲野谷重一
中澤　坂本平五郎72歳　坂本義利
大戸中　小松　操72歳　小松幸一

心配ごと相談

4月21日(月)
午前10時～午後2時
鮫川村山村開発センター
行政相談

休日の在宅当番医

月日(曜)	当番医院 棚倉町	塙町	矢祭町
4月20日(日)	勝田	石川	木村沢
27日(日)	菅原		
29日(火)	薄葉	金	
5月3日(土)	大木	島田	
4日(日)	中央病院	中車	
5日(月)	和田	根本	
11日(日)	阿部	厚生病院	

ゴミの収集日

収集コース	種別	4月	5月
江竜田～中野町～中山～田尻～彦次郎～反田～前沼～広畑～湯ノ田（可のみ）～役場～農協ストアー～保育所コース	可燃物	21.24.28	1.8.12.15.19 22.26.29
	不燃物	18	2.16.30
新宿橋～農協倉庫～給食センター～道少田～大塩～宿ノ入コース	可燃物	22.24	1.6.8.13.15 20.22.27.29
	不燃物	18	2.16.30
鮫中～真坂～寅卯平～茅～酒垂～滑石～折戸～水口～官沢コース	不燃物	—	1.15.29
越虫～青生野～葉貫～戸草～蕨の草～湯ノ田～中沢コース	不燃物	—	14.28
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	不燃物	—	9
官代～楢久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	不燃物	18	2.16.30

※　休日は、可燃物・不燃物を出さないで下さい。
※　ゴミは、収集日の朝に出して下さい。

塙セリ市場だより

(61・3・20)

性別	頭数	取引価格 最高	最底	平均	平均体重	平均月令
	頭	千円	千円	千円	kg	月
雌	105	782	178	307	241	9.3
去勢	142	357	201	291	262	9.0
計	247			298	253	9.1

今月の納税　軽自動車税　・　国民年金保険料(1)　納期限４月25日(金)